

広報 五戸

2005年 / 6月号 / Vol. 552

五戸町町村合併50周年 記念イベント
倉石村との合併1周年

7月24日(日)～7月27日(水)
中心商店街



まっすぐな矢と、まなざしと

— 五戸地方弓道大会 —

平成17年
7月1日

五戸町
川内村
浅田村

町村合併50周年

— 倉石村との合併1周年 —



昭和30年の町村合併当時の役場(左)・川内支所(中)・浅田支所(右)各庁舎

昭和30年7月1日、五戸町・川内村・浅田村が廃止され、その区域をもって新たな「五戸町」が誕生しました。
平成17年7月1日は、この合併から数えて50周年、また、昨年7月1日の倉石村との合併から1周年に当たります。町ではこれを記念し、7月24日に関係者を招待して記念式典を行います。
また、これに併せて7月24日から27日までの4日間、五戸町商工会主催による記念イベントが開催されます。

記念イベント

中心商店街を歩行者天国にして納涼祭り開催！

○期間：7月24日(日)～27日(水)



○主なイベント

24日(日)	16:00～21:00	開会セレモニー、屋台村、よさこいソーラン、流し踊り、三味線饗宴、ハワイアン…
25日(月)	19:00～21:00	流しソーメン
26日(火)	19:00～21:00	マグロ解体即売、じゃんけん大会
27日(水)	19:00～21:00	ちびっこカラオケ大会(出場者募集中!)
期間中毎日		ビアガーデン、絵灯ろう、七夕飾り (絵灯ろうは五戸小学校児童の皆さんの手作りです)



7月24日の屋台村には「スマシ」スープの「かっちゃんのラーメン」、あすなる卵、馬肉鍋、倉石牛・シャモロック串焼、リンゴジュース・アイスなど多数の出店を計画中！

主催 五戸町商工会 TEL 62-3151

記念式典

国、県をはじめ町の功労者など関係者を招待し、記念式典を次のとおり開催します。

日時 平成17年7月24日(日)
午後3時～

場所 町立公民館 大ホール

招待者 国・県関係者、近隣市町村長・議会議員、歴代町特別職・議会議員、町功労者・各種委員・自治会長・農事組合長、各種団体長等

内容 式辞、あいさつ、祝辞、アトラクション(荒町自治会祭り音頭、石沢駒踊り)等



町立公民館に開設された「子ども あそびの広場」

あそびの 広場の 開設

地域の大人がボランティアスタッフとなり、遊びや体験・交流を通して地域ぐるみで心豊かな子どもを育てる「子ども あそびの広場」が5月25日、町立公民館に開設されました。

毎週水曜日、子どもと地域の大人が一緒になって遊び、触れ合い、笑顔と元気な声広がっています。

今後は創作活動や自然体験、四季折々のさまざまな活動をしていく予定です。

問い合わせ先

町図書館内 楠田・福田

TEL 61-1040

22集落に 44,478,074円が交付されました。

1. 直接支払制度とは

農業・農村は、食料を供給するだけでなく、災害防止や安らぎの場など「多面的機能」を担っています。

この中で中山間地域は、平野部に比べ生活基盤が立ち遅れていることや傾斜地が多く農業生産の条件が不利なことから、過疎化や高齢化が進み、農地などの管理がままならず、「多面的機能」の低下が懸念されています。このため、中山間地域で農地の維持管理活動を実施する場合、生産条件の不利性を直接的に補う「直接支払い」を行うものです。

※五戸町の対象地域は、農林統計上の中山間地域に指定されている地域（大字扇田、大字浅水、大字手倉橋）および過疎法指定地域（倉石地区）になります。

2. 中山間地域等直接支払交付金の概要等

対象となった 集 落 名	協定 者数 (人)	交付対象農用地面積 (㎡)			交付金額 (円)		
			田の急傾斜地 面 積	田の緩傾斜地 面 積		うち集落共同活動 充 当 額	うち農業者への 配 分 額
野 沢 集 落	64	73,203		73,203	585,624	292,812	292,812
浅水下通り集落	75	75,862		75,862	606,896	304,000	302,896
浅水上通り集落	54	36,600		36,600	292,800	146,400	146,400
上 豊 川 集 落	32	142,641	12,681	129,960	1,305,981	653,000	652,981
関 口 集 落	4	11,918		11,918	95,344	47,672	47,672
手 倉 橋 集 落	50	49,643		49,643	397,144	397,144	0
相 間 野 集 落	3	24,948	24,948		523,908	263,000	260,908
風 原 平 集 落	4	85,756	85,756		1,800,876	910,000	890,876
横 倉 集 落	8	164,907	164,907		3,463,047	1,739,999	1,723,048
沼 沢 集 落	8	65,790	65,790		1,381,590	700,000	681,590
後 田 内 沢 集 落	41	187,298		187,298	1,498,384	758,383	740,001
谷 地 中 渡 集 落	10	37,518		37,518	300,144	150,145	149,999
松 山 集 落	8	13,247		13,247	105,976	53,976	52,000
堤 沢 集 落	27	134,508		134,508	1,076,064	539,264	536,800
前 田 内 沢 集 落	9	60,224		60,224	481,792	241,792	240,000
大 久 保 沢 集 落	21	147,530		147,530	1,180,240	590,241	589,999
一 ノ 坪 集 落	19	349,936		349,936	2,799,488	1,409,487	1,390,001
第 2 横 倉 集 落	14	200,300		200,300	1,602,400	802,398	800,002
倉石西部地区集落	345	1,858,767		1,858,767	14,870,136	7,436,486	7,433,650
倉石東部地区集落	254	1,203,969		1,203,969	9,631,752	4,816,812	4,814,940
新 田 沢 集 落	5	33,162		33,162	265,296	133,296	132,000
個 別 協 定	1	10,152	10,152		213,192	0	213,192
計	1,056	4,967,879	364,234	4,603,645	44,478,074	22,386,307	22,091,767

3. 集落協定の取り組み事例紹介(倉石西部地区集落協定)

倉石西部地区集落では、集落協定に基づき水路の補修・改修、農道整備、農村の持つ機能を高める活動を行っています。その他の活動としては、五戸川へ飛来する白鳥のえさの確保や伝統芸能の継承育成、景観作物の作付けなどに取り組んでいます。

問い合わせ先：役場農林課 TEL 6 2 - 2 1 1 1 内線 4 1 5



道路の草刈りをする倉石西部地区集落の皆さん

— 春の叙勲 —

五戸町から6人が受章

地方自治功
章
旭日双光

上山

幸

吉

さん (79歳又重)



旧倉石村職員として勤務の後、同収入役を経て昭和63年同村長に当選。2期8年にわたり民主的な村政に重きを置き、村民の福祉向上に貢献しました。農業施設等の整備、倉石村診療所の新築、簡易水道の推進、幼稚園の設置など各分野にわたって実績を残しています。

学校保健功
章
瑞宝双光

中村

穰

さん (83歳上市川)



旧川内村診療所長として勤務の後、昭和30年に旧南郷村に中村診療所を開業。翌年、五戸町大字上市川に診療所を移転し、今日も地域住民の診療に当たっています。診療の傍ら、45年余の長きにわたり川内地区の複数の学校医として、学校保健の向上に貢献しました。

防衛功
章
瑞宝双光

菊池

瑞

穂

さん (61歳正場沢)



昭和37年に海上自衛隊に入隊以来、35年にわたり自衛隊員として危険を伴う業務に従事。当初は飛行機、車両等の整備に就き、その後、米軍との渉外担当や自衛隊体育学校の教官として活躍。平成6年からは航空施設隊資材班長として、円滑な施設の管理運営に貢献しました。

地方自治功
章
旭日単光

田村

三

郎

さん (88歳新丁)



昭和35年、五戸町議会議員に当選して以来、通算5期20年にわたり在職。老朽化した五戸小学校の建設促進対策委員を務め、その実現に尽力したほか、農工並進のまちづくりいち早く取り組むなど、卓越した識見で将来の町の姿を見据え、地方自治の発展に貢献しました。

教育功
章
瑞宝単光

江渡

て

る

さん (79歳荒町)



昭和35年に江渡文化服装学院を開設し、以来私学の道一筋に力を尽くしてきました。昭和49年には江渡幼稚園を開設し、理事長および園長として教育に専念。私学ならではの教育理念に基づき学園の環境整備に努め、教育の振興発展のため、今なお先頭に立って活躍しています。

消防功
章
瑞宝単光

三浦

良

男

さん (73歳又重)



昭和27年旧倉石村消防団団員拜命以来、35年にわたり常に消防人として研磨努力を重ね、昭和53年には副団長に就任。教養と訓練による団員の資質向上の重要性を主張し、隔年ごとに班長以上の県外研修を実施したほか、各集落や各団体への防火対策の啓もうにも尽力しました。

サッカーボールを寄贈 古川毅選手と後援会



サッカーJリーグで活躍した五戸町出身の古川毅選手が昨シーズンで現役を引退し、今年1月から京都パープルサンガのジュニアユース（15歳以下）チームのコーチとして第二のサッカー人生を歩み始めました。

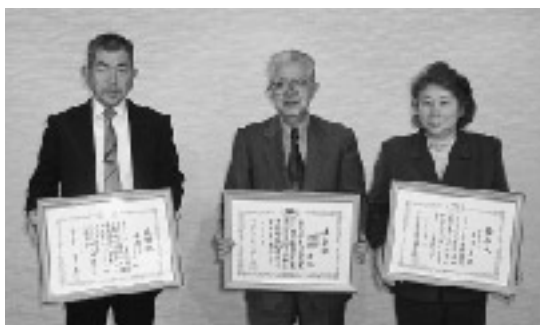
これに伴い、古川毅選手後援会（高橋勇会長）が解散。繰越金の用途について同会では、古川選手の意向を受けて、町内の各小・中学校および五

戸高校のサッカーチームにサッカーボールを贈ることになりました。8つあるサッカーチームに各10個ずつ合計80個。後援会の繰越金で32個、残り48個は古川選手からの寄贈となりました。



現役時代の古川選手

受賞おめでとうございます



表彰を受けた五戸町人権擁護委員の3人

5月23日に開催された八戸人権擁護委員協議会定時総会の席上において、多年にわたり国民の人権擁護と人権思想の普及高揚に貢献したとして、五戸町から3人の人権擁護委員が表彰されました。受賞者は次のとおりです。

全国人権擁護委員連合会長表彰

沼畑 清さん

高奥 恵さん

仙台法務局長表彰

高谷 富士男さん

融資のご案内

町では、青森県信用保証協会と共に、中小企業者の事業資金にかかる借入れを円滑にするため、特別保証制度と売掛債権担保融資保証制度を実施しています。地元中小企業者の利用しやすい制度としてきめ細かに対応しますので、大いにご利用ください。

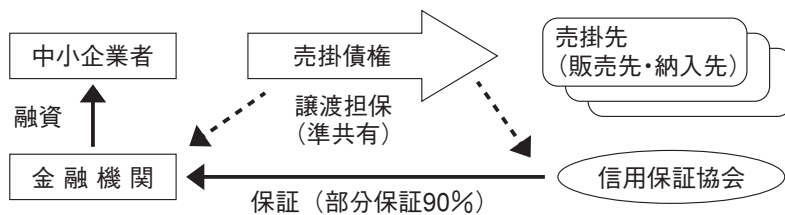
特別保証制度

項目	① 簡易小口資金	② 近代化資金
保証額	1,000万円	2,000万円
期間	運転・設備 7年以内 (据置6か月以内)	運転・設備 10年以内 (据置6か月以内)
貸付率	3.5%以内	3.5%以内
保証料	年率1.28%以内	年率1.28%以内



売掛金の有効活用を—— 売掛債権担保融資保証制度

中小企業者が売掛先に対して保有している売掛債権を担保とした融資に対する保証を行うことにより、中小企業者の事業資金の融通について円滑化・多様化を図ることを目的として実施しています。



◎制度の概要◎

保証対象	事業者に対する売掛債権を保有する中小企業者
対象資金	事業資金
保証限度額	1億円以内 ただし、保証割合は借入金債務の90%
保証期間	1年間（個別保証の場合は1年以内）
貸付形式	手形貸付
保証料率	年0.85%
返済方法	期日一括返済
担保	申込人の有する売掛債権のみを譲渡担保として徴求する
保証人	法人代表者以外の保証人は徴求しない
取扱金融機関	この制度に賛同する金融機関

詳しくは 青森県信用保証協会八戸支所 TEL 24-6181
または 役場企画振興課 TEL 62-2111 (内線233) へお問い合わせください。

この国の英訪問記 その2

町の海外派遣事業でイギリスを訪れた大釜賢子さん。今回は体験レポート連載第2回です。

2月7日(月)

▼今日はCIE(語学学校)登校初日。バスでジャネットさんに教えてもらいながら行った。イギリスのバスの中は新しく、きれいである。日本のバスより少し長い印象を受けた。約15分でオックスフォードの中心街に到着。

CIEで私の専属の先生ロバートとの初対面。明るくやさしい先生でほっとした。個人レッスンのこともあり、個人の発言に重点を置き、発音や文法を徹底的に指導してくれる体制に大満足した。帰

国するまでに成果や自分の英語の成長が見られるといい。明日からのロバートのクラスが待ち遠しい。

▼帰りのバスの窓から桜が既にちらほら咲き始めているのを見た。イギリスで桜を見るとは想像だにできなかったせいか、何か不思議な感じを覚えた。オックスフォードに来てから思うことは、この寒さにもかかわらず、桜をはじめクロッカスや水仙などの春の花々が咲いていることだ。日本ではありえないことだけに、イギリスの草花は日本の草花より寒さに強くなっているのかなあと思った。

2月13日(日)

▼今日はブロードストリートにあるミュージアム・オブ・オブ・ヒストリー・オブ・サイ

エンスを訪ねた。文字通り科学を歴史の観点から見て造られた博物館である。医療器具を中心とした古代からの器具の展示に心打たれた。古代のものとはいえ、器具は頑丈そう現代の器具とほぼ変わら

ない。古代の人々の知恵や賢さに脱帽した。

▼その後、博物館の向かい側にあるブラックウエルズという老舗の本屋に立ち寄った。日本の本屋とは違って、どこか家庭的で温かい雰囲気であった。単に本とはいえども、何か心に語りかけてくるものを感じた。こどもの絵本を取り扱ったフロアは、特に温かく家庭的な印象を受けた。こどもが用意された小さな椅子に座って大きな声で絵本を読んだり、父親や母親と絵本を眺めたり、選ぶ姿が心に強く残った。今日は少ししか見られなかったが、時間を見つけて来週にまた足を運びたい。

▼今日驚いたことは、夕方6時前には休日ということもあり、レストランやパブ以外のほぼ全ての店が閉まってしまふということだ。人気も無くなり、緯度の関係上すぐ暗く

なってしまうなか帰りのバスを待っている間は“怖い”という感情が先行した。朝まで店が開いている日本との違いにはっとした。いくらオックスフォードが比較的治安がいいといえども、やはり怖いものは怖い。来週どこかに行くとしても、今日より確実に早くバスをつかまえて帰ろうと思った。



オックスフォード国際教育カレッジ(CIE)

▼夕方近くにアシュモール博物館に行った。立派な造りなうえに展示物がとても多い。それなのに入場無料ということに驚いた。そのせいか、こども連れや多くの観光客でにぎわっている。オックスフォードでは、さまざまな博物館や大学に無料で入れる。オックスフォードの市民がうらやましい。私がオックスフォード市民だったら週末には足を運んで、博物館などでのんびり過ごすだろうと思った。アシュモール博物館は3階建てであるが、世界中の文明の展示物が所狭しと並べられている。世界史好きには絶好の場所である。じっくり見るのであれば、1日かがりて楽しめる。

2月18日(金)

▼今日は、お昼にオックスフォードで唯一の日本料理レストランである“えだまめ”に行った。レストランは狭かっ

たが、明るい雰囲気の内装だった。店は日本人よりも外国人で混雑していた。オックスフォードは、物価が非常に高いことである。 “えだまめ”でもちよつとした定食だけで7ポンド(約1,400円)もする。高かったが久々の日本食はおいしかった。

▼近くにペーリオールカレッジがあったので立ち寄ってみた。この大学は皇太子妃殿下雅子様がおックスフォードに留学していた際に通っていた。つしやった大学である。雅子様もここにいらしたかと思うと、胸がはずんだ。残念なこと、中に入ることはできなかつたが、雅子様の学び舎であるペーリオールカレッジを一目見ることができて本当によかつたと思う。

2月19日(土)

▼今日は、久々に晴天となつた。このところ

ずっと気温低めの曇りがちの、すつきりしない天気。悩まされていた。よって朝からジャネットさんと散歩に出かけた。テムズ川沿いを歩いて、川に沿ってオックスフォード市内に入った。そこから折り返し家まで歩いた。3時間ウォーキングしたが、

晴天とすばらしい景色のおかげで苦痛とは全く感じなかつた。

川沿いを歩いていると、多くのオックスフォードの大学のボート部が、川でボートこぐ練習をしていた。中には雅子様のペーリオールカレッジのボート部もあつた。ここオックスフォードでは、ボート部が盛んでよくレースが開かれるそうだ。ボート部の練習は、数人がボートをこぎ、マナージャーのような2人が川沿いのぬかるんだ土手道をストップウォッチやメガホン



アシュモール博物館

片手にマウンテンバイクに乗りながら、ボートをこいでいる数人に指示するというものだ。早朝からの練習に全員が真剣で、レースにかける思いが伝わってきた。

▼市内に入ってから、クライストチャーチとボタニックガーデンを歩きながら家に戻つた。ボタニックガーデンの温室は実にすばらしかつた。ボタニックガーデンの温室は非常に有名だが、世界中の植物を一度にたくさん見られることに感動した。日本の植物園の温室でも見たことのない多くの植物を目にするこ

2月21日(月)

▼私はCIEで医学用語や法律用語といった専門用語を学んでいる。先週半ばからは、法律用語(特に裁判で多く用いられる用語)を学んでいる。最初は覚えることが多くて戸惑つたが、だんだん慣れてきて楽しさを感じるようになった。そこでロバートの提案で明日オックスフォード市内に

ある裁判所に行つて、公開されている実際の裁判を傍聴することになった。日本でもこのシステムはある。もともと日本でも非常に興味はあつたが、初めての公開裁判をイギリスで経験するとは夢にも思わず興奮している。明日がとも待ち遠しい。明日の裁判の内容をあらかじめ整理しておきたい。

▼13歳の少年が自転車に乗りながら、車に乗っている2人の男性にショットガンで発砲された。2人の男性のうち、21歳のデイビッドは容疑を否認。しかし、傷害犯意、生命を危険にさらす意図でのショットガンの保持、有効な証明なしのショットガンの保持という3つの争点で公判が行われている。共犯であるサイモンは容疑を認めた。彼も同様に3つの点で起訴されている。

検事のフィオナは、少年は事件後おしりと背中傷跡が残り、二度の手術の後の生存はまれな幸運なケースだと述べた。少年の体内には、なお無数のショットガンで撃たれ

た際の破片があるそうだ。フィオナによると、2人の男性は車に乗り、少年らのグループを目にすると車の窓に寄りかかり、少年をめがけ撃つたとのことだ。少年は8歳10フィート(約3メートル)という近距離で撃たれたということもあり、当時ひどい痛みを背中に感じたそうだ。

▼このような、映画のような出来事が私のいるオックスフォードの中の小さな村で起つたかと思うとぞつとした。つくづく日本は平和だと思つた。被害者の少年、容疑者は私と年齢が近いということもあり、なおのこと公判の行方が気になる。明日が本当に待ち遠しい。

▼今日雪が降つた。オックスフォードで雪を初めて見た。五戸の雪と違って積もりはしないものの、異国の雪に何か故郷を偲ばせる懐かしいものを感じた。オックスフォードの雪は粒が小さく激しく降るという印象を受けた。

(つづく)



五戸総合病院

地域総合医療の拠点に



●五戸総合病院医師一覽表(7月)

診療科	職名	医師名	備考
内科	副院長	新井田修久	
	科長	愛川俊信	(総合診療担当)
	科長	田口順	
	副院長	矢田部宏一	
	副院長	對馬清人	
	副院長	東山明弘	
	非常勤	三浦昌人	水曜日の午後 木曜日
	非常勤	大根田昭	第1・3火曜日
(循環器)		蝦名宣男	
		渡部秀一	(科長)
外科	院長	原田昭彦	
	副院長	高見一弘	
産婦人科	副院長	井戸川敏彦	
小児科	科長	笹野拓也	
	非常勤	(弘前大学)	第2・4金曜日
整形外科	科長	三上靖隆	
	非常勤	(弘前大学)	金曜日・土曜日
脳神経外科	科長	深瀬栄一	(医療技術局長)
眼科	非常勤	小林貴樹	火・水曜日
		丸屋信一郎	月曜日
耳鼻科	非常勤	袴田真理子	火曜日
		袴田真理子	木曜日
		南場淳司	金曜日
皮膚科	非常勤	(東北大学)	木曜日

お知らせ

耳鼻いんこう科の診療日が変わります

7月から毎週月・火・木・金曜日になります。

●5月の診療科別患者数

区分	診療科	内科	外科	産婦人科	眼科	小児科	耳鼻科	整形外科	脳外科	皮膚科	計
		外来	4,119 (4,025)	661 (683)	641 (477)	951 (908)	411 (241)	670 (584)	1,881 (1,923)	676 (659)	167 (228)
患者数	入院	2,870 (3,248)	311 (540)	299 (277)	28 (43)	52 (63)	0 (0)	549 (666)	336 (674)	0 (0)	4,445 (5,511)
	4月からの延患者数	8,410 (8,518)	1,284 (1,408)	1,277 (1,018)	1,955 (2,071)	703 (435)	1,560 (1,460)	3,801 (4,020)	1,450 (1,404)	355 (439)	20,795 (20,773)
	入院	5,647 (6,335)	652 (1,225)	568 (444)	86 (78)	108 (75)	0 (0)	1,198 (1,293)	740 (1,390)	0 (0)	8,999 (10,840)

※ 入院 = 毎日24時現在の在院患者延数 + 毎日の退院者数 () = 昨年度同期

文芸ごのへ

俳句

苔みどり千年の古都清々し 小手毬
鳴き止まぬホーホケッチョ聞き惚れし 佐々木はるの (上市川庄)

川柳

我が孫がおどり上手は婆馬鹿か 久保田玲子 (菖蒲川)
水無月にカッコウの声騒がしく 藤村 ナヲ (鍛冶屋窪)

短歌

流れ行く精霊遠く見送りて 瀬川 きゑ (下大町)
又の日約し帰路を急ぎぬ
奥入瀬の川の流れて歩みよる 原 はつゑ (上市川)

水は笹色しぶきたちぬる 田代十志男 (上市川)
老二人喧嘩しつつもお互に
もちつもたれつ共に生きたや

下向いた小花をひとつずつまみ匿 名
君の回復願っておりぬ 類家 清美 (菖蒲川)

集うたび安柄の長芋話題たて 橘 ミネ子 (北市川)
作るのがプロのチャンスに賭けて
水無月の夜空をみあげ聞き惚れる

蛙の合唱青田に響く 高嶋 春松 (野月)
年老いて身体の不調におびえつつ
不安かかえて今日も生きん

カッコーの声に目覚め狭き庭 鳥谷部せぬ (ひばり野)
ひと回りする気分爽快
庭隅の八重桜花色あざやかに 高谷 トヨ (上大町)

道ゆく人の歩みとどめる

●皆さんの作品を「文芸ごのへ」に発表してみませんか。
川柳・短歌などの区別を明記し、総務課広報係へ。
お待ちしております。

情報ステーション



このへ 大空に夢をはこぶ町

国家公務員採用試験

●試験名

入国警備官採用試験

●受験資格

昭和57年4月2日から昭和63年4月1日生まれの人

●受付期間

平成17年7月19日(火)から平成17年8月2日(火)まで

●第1次試験日

平成17年9月25日(日)

●問い合わせ先

・仙台入国管理局
TEL 022-25616076

●人事院ホームページ

<http://www.jinji.go.jp>

平成17年度五戸町成人式 実行委員募集

今年度成人式を迎える皆さん、自分たちの成人式を自分たちで企画・運営してみませんか。五戸町成人式が実行委員会です。やる気のある新成人を募集します。

●申し込み先

教育委員会社会教育課
TEL 62-21111内線524

離職者等再就職訓練 受講生募集

●医療事務科

○定員 20人

○訓練期間 2か月

○募集期間

平成17年7月20日(水)から8月19日(金)まで

●介護福祉科(2回実施)

○定員 各20人

○訓練期間 2か月

○募集期間

・1回目
平成17年8月8日(月)から9月5日(月)まで

・2回目
平成17年9月5日(月)から10月3日(月)まで

●受講料

無料(ただし教材費、資格試験受験料などは自己負担)

●対象者

公共職業安定所に求職申し込みをしている方

●お問い合わせ先

※受講希望者は八戸公共職業安定所で相談の上、お申し込みください。

青森県立八戸工科学院
TEL 28-6811

戦没者等の遺族の方へ

— 特別弔慰金が支給されます —

●支給の目的

特別弔慰金は、戦後60周年に当たって、国が改めて戦没者等の遺族の方に対して弔慰の意を表すために支給されるものです。

●支給方法

戦没者1人について額面40万円の国債で支給され、平成18年から平成27年までの10年間にわたって毎年4万円ずつ償還されます。

●対象者

満州事変(昭和6年9月18日)以後の戦没者等の遺族の方で、平成17年4月1日現在において公務扶助料、遺族年金等を受取る方がいない場合に限り、次に記載された順序で最も順位が先の遺族の方1人に支給されます。

●請求期限

平成20年3月31日

※期限までに請求しないと受給できなくなりますのでご注意ください。

●お問い合わせ先

役場福祉課
TEL 62-21111
内線 251・252

母④兄弟姉妹(婚姻、養子縁組により平成17年4月1日に氏が変わっている方は除きます。)

(4) (3)以外の①父母②孫③祖父母④兄弟姉妹

(5) (1)から(4)以外の3親等内の親族(戦没者等の死亡まで引き続き1年以上生計を共にしていた方に限りません。)

請求用紙は役場に用意してありますが、戸籍書類、印鑑などが必要です。

請求期限
平成20年3月31日

お問い合わせ先
役場福祉課
TEL 62-21111
内線 251・252

フォトコンテスト 開催のお知らせ

あなたが選ぶ平成五戸八景

まちづくり G-Five Doorでは、五戸町のすばらしさを再発見し、アピールする活動として、フォトコンテストを開催することになりました。五戸町おすすめの景色を写真でお送りください。作品は、産業と文化まつりで展示し、来場者の投票も参考にして審査を行い、「平成五戸八景」として、今後の町のPRに活用します。

●応募期間

平成17年7月1日(金)から
9月30日(金)まで

●サイズ

し判

●応募方法

応募票に必要事項を記入の上、社会教育課(倉石分庁舎)または町立公民館窓口へご持参ください。

※応募票は社会教育課、町立公民館窓口にあります。

●問い合わせ先

教育委員会社会教育課
TEL 62-7965 藤田

町立保育所へのご意見・ご要望について

町では、町立保育所が提供するサービスについてのご意見・ご要望、あるいは苦情などに適切に対応するための仕組みとして、各保育所に

○受付担当者(主任保育士)

○相談解決責任者(所長)

○第三者委員

を設置しています。ご意見・ご要望などは、面接・電話・書面などにより受付担当者が随時受け付けます。

また、受付担当者に直接申し出にくい場合、あるいは受付担当者や相談解決責任者との話し合いだけでは納得がいかない場合は、左記の第三者委員にご相談ください。第三者委員は、第三者の立場から話し合いに立ち会い、必要な助言をします。

●第三者委員

平野 光子 TEL 67-2605
新井山妙子 TEL 68-2256
佐々木リウ子 TEL 68-2411
小渡 時夫 TEL 77-2638
荒屋敷愛子 TEL 77-2794
浅山 栄 TEL 77-3014

知事とのわいわいミーティング視聴者募集

青森県の未来について、知事と県民の方が直接意見を交わす「知事とのわいわいミーティング」を五戸町で開催します。当日は、各分野で活躍中の町民の方と知事が意見交換します。視聴希望の方は事前にお申し込みください。

●日時

平成17年7月26日(火)

午後1時30分から3時30分

●場所

町立公民館小ホール

●申し込み方法

住所、氏名、電話番号、会場名、車イス・手話通訳・託児の希望の有無を明記して、FAXまたはEメールでお申し込みください。

●申し込み期限

平成17年7月19日(火)必着

●問い合わせ・申し込み先

青森県政策調整課
広報広聴グループ
TEL 017-734-9138
FAX 017-734-8031
メールアドレス
koho@ags.pref.aomori.jp

税 県

納税証明書交付申請時の本人確認にご協力ください

県税事務所では納税証明書の交付申請の際、本人確認をさせていただいております。

○納税義務者本人(法人の場合は代表者本人)が申請する場合

運転免許証、パスポート、健康保険証などにより、本人確認をしています。

○代理人が申請する場合

納税義務者本人(法人の場合は代表者)の委任状と

印鑑証明書が必要です。ただし、自動車の継続審査(車検)のための納税証明書の

場合のみ、印鑑証明書は必ずありません。委任状には

必ず、本人が署名・押印(法

人の場合は代表者の署名、

法人登記している実印の押印)してください。

●問い合わせ先

八戸県税事務所 総務課
TEL 27-5111 内線357

五戸町農業委員会委員一般選挙

投票日

平成17年7月10日(日)

午前7時~午後8時

期日前投票

期間 平成17年7月6日(水)~7月9日(土)

時間 午前8時30分~午後8時

場所 五戸町役場本庁舎 2階 庁議室

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

八戸地区保護司会

平成17年度交通遺児 育英会奨学生募集

●対象者

保護者が交通事故で死亡したり、重い後遺障がいのために働けないなどの理由で、経済的に修学が困難な高校生以上の生徒・学生

●貸付金額

・入学一時金 30～40万円
・月額 2～6万円

●利子 無利子

●返済方法

20年間の割賦

●問い合わせ先

(財)交通遺児育英会

☎0120-1521286

ニセ電力社員に ご注意ください!

東北電力または東北電力に似た架空の電気工事店をかたつて訪問し、

○メーターの修理、取り替え代金を請求

○電気料金が安くなるとのふれ込みで、契約加入料金を請求

するなどして、金銭をだまし取る事象が発生しています。

不審に思ったら「身分証明証」の提示を求めてください。

●問い合わせ先

東北電力コールセンター

☎0120-1751466

7月の 行事予定

●町民カレンダーと合わせてご利用ください。
●行事についての問い合わせ
TEL62-2111 五戸町役場

- 3日(日) 奥州街道ウォーク
8:30 町立公民館前発
- 10日(日) 五戸町農業委員会委員一般選挙投票日
- 12日(火) 田ノ草取り唄(踊)
14:00～ 代官所前
- 町村合併50周年・倉石村との合併1周年
記念式典 24日(日) 15:00～
町立公民館
記念イベント 24日(日)～27日(水)
中心商店街
- 30日(土) おもしろ科学教室
13:30～ 町図書館
- 夏休み子どもアニメ映画会
7月26日(火)・28日(木) 8月2日(火)・4日(木)
13:30～15:00 町図書館

7月の 相談

相談は無料です

- 12日(火) 行政相談
10:00～15:00 倉石コミュニティセンター
- 26日(火) 行政相談
13:00～17:00 倉石温泉
- 毎週木曜日
みんなの保健室(健康相談)
13:00～15:00 役場保健衛生課
- 交通事故移動相談
日程は相談者と調整
TEL017-734-9235

幼児と児童の日本脳炎予防接種中止のお知らせ

定期予防接種の日本脳炎ワクチンの副作用による重症の健康被害が、厚生労働省に報告されていることに伴い、町では日本脳炎予防接種を中止します。したがって、平成17年度町民カレンダーに掲載している日本脳炎予防接種実施予定日がなくなります。

なお、日本脳炎流行地域へ渡航するなど日本脳炎に感染する恐れが高い場合、ワクチンの効果と副作用を医師と相談の上、自分の判断で接種するか決めることになります。

●問い合わせ先 役場保健衛生課 ☎62-7958

廃棄物の 『不法投棄』は 絶対ダメ!!!

不法投棄や野焼きをした場合、5年以下の懲役または1,000万円(法人は1億円)以下の罰金に処せられるなど厳しい罰則が設けられています。

不法投棄に関する通報・問い合わせは
役場保健衛生課 TEL62-7958
八戸環境管理事務所 TEL51-1900 まで

五戸町交通安全対策協議会 五戸警察署

夏の交通安全県民運動

7月21日(木)～7月31日(日)

運動の重点

1. 子供の交通事故防止
2. 若者の暴走運転の追放
3. 飲酒運転の根絶
4. 自転車の安全利用の推進

やりません
とび出し
手ばなし
二人乗り

早め点灯運動 7月の点灯目安時刻……18:00

毎月1日は県民交通安全の日

郷土探訪

「おらほの草相撲①」

五戸(続)

大正二年夏、五戸地方の青年たち約六十人が集まって、五戸神士角力大会を五戸産馬組合構内(現町立六公民館敷地)で盛大に開催した。しかし、資料は発見されていない。同年十一月二十一日夜、五戸大火が発生したので記録が灰になったと推察される。二十三日付の東奥日報紙は次の通り報道している。

▽烈風・猛火

十一月二十一日午前一時三十分、大町三浦方馬屋付近から出火、折柄の烈風砂塵を巻いて荒れ狂い居たる際とて、火は忽ち路を挟んで縦横に燃え拡がり、五戸の中心なる上大町、下大町を焼き尽し、更に観音堂、堀合の全部及び馬喰町、横丁、新町の一部を灰燼に帰せしめ、旧河床の築堤路に至りて漸く鎮火せるが、時に六時三十分なりき。



大正2年の五戸神士角力大会の出場者たち

百六十八戸焼失、損害額十八万余円。(以下略)
二年後の大正四年十一月一日、町制施行の行事や集会はこの産馬組合で行われ、今年は町制九十周年に当たる。大正から昭和初期にかけて生活不安定が続き、農民の目立った娯楽といえば盆踊りや五戸豊年祭ぐらいだった。

祭りの中日、九月五日には川原町若者中主催の放楽相撲が、蒼前神社境内で開かれ賑わっていた。八幡宮の新築が大正九年九月二十四日完成、この年からおみこしが八幡宮へ行くようになり、それと共に十一年から放楽相撲が八幡宮仮設相撲場で実施されるようになり、昭和三十五年まで続く。
星取りグループの発表会に当たる「神士相撲大会」は昭和十四年八月十五日、五戸小学校相撲道場の完工式を兼ねて行われた。旧盆の中日とあって、見物客はわんさと詰めかけ大盛況となった。

土俵入りは鞍馬会(鈴木栄一郎代表)と天馬会(産馬組合職員)の対抗となった。星取り仲間が全員力士となり、土俵に登ることになった。出場しない会員からは罰金を徴収するということ厳しき。
天馬会の横綱は鳥谷部金人(鳥金商店主)、行司は下大町の三浦専次郎(鍛冶屋の主人)。



五戸小学校相撲道場で披露された鞍馬会の土俵入り

土俵入りの練習から始めたが、慣れないため町民の前に出ただけで疲れ、便所に行っても座れないという声まで聞かれた。

一方、鞍馬会の横綱は泉山治太郎(是川堂主人)、弓取りは川村武治であった。練習は下大町大火(昭和十年二月七日、四十三戸全焼)の跡地に空き地があったので、夜になるとこっそり始めていた。
本番の土俵開きは、練習の効果もあって成功裡に終わった。

この相撲場は、児童や青年たちの練習場として利用されたが、数年後、四本柱の根元が腐り、ある嵐の夜に倒れて使用できなくなった。
大正から昭和にかけて、四

和村滝沢(現十和田市)の榊沢翁さんが川原町に投宿して五戸地方の行司を務めていたが、戦時中に亡くなったとか。

この榊沢翁さんの弟子が、青森銀行五戸支店前の下沢菊次郎で、飲食店を経営しながら草相撲の行司を務めていた。下沢は又重北向の人で、鬼龍川と同じ集落。昭和三十五年ごろ死亡。北向の共同墓地に眠っている。戦後は名行司といわれる行司は出ていないと評するファンもいる。
五戸町文化財審議委員長 三浦 榮一

町の人口		7月の納期	
	(前月対比)		納期限 8月1日
男	10,257人 (-10)	固定資産税	第2期
女	11,012人 (-4)	国民健康保険税	第1期
総人口	21,269人 (-14)	介護保険料	第1期
世帯数	6,896世帯 (±0)		
平成17年6月1日現在			